

---

# YUIが悪と戦ったら 過去篇 5

pokemomtyan

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

「」のPDFファイルは、「小説家になろう」で掲載中の小説を「タ  
テ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。  
この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者また  
は「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒ  
ナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範  
囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致し  
ます。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

YU-Eが悪と鬪つたら 過去編5

### 【著者名】

N4633Y

### 【作者名】

pokemomtyan

### 【あらすじ】

悪党どもが、会談をする「」となる。

過去の過去の過去（前書き）

感想は長めに書いてね。

## 過去の過去の過去。

糟屋郡事件を起こす犯人の主犯が現れようとしていた。山口県の下関ではおびただしい数の軍隊や軍船が集まりとある下関にあるかつては、日本の初代の内閣総理大臣の伊藤博文が来ていた老舗のフグ料理屋に我が国で失態を起こして国民から反感を喰らい支持率を下げた元総理の二人が料亭の個室に通された。

自民党議員A（元首相のお二人が到着されました！どうぞ、此方に。）居間に一人の元首相が入った。

村山富市（ワシは～神戸の阪神淡路大震災で失態ばかりをして～国民から、反感を買ひ～総理の職を降ろされたのじゃ～。ワシにはこんな震災は初めての事じやから～国民なぞ何人死んでも構わんけど、70過ぎのお年寄りに大変じやつたの～とか協力してくれなかつたとは・・日本人は冷たくなつたの～。）

細川元首相（コレコレ・・まろは日本の戦国武将で室町時代からの由緒正しきお家柄の、細川忠興の子孫でありまた、戦時中では近衛文麿の孫にあたる名家の人間ぞ笑。芸者の女子よもそつと近こう寄れ笑。）細川は酒を飲みながら、芸者の女の着物の裾に右手を入れて、撫でるように胸を揉みだした。

芸者A（あらあら・・笑。細川様。お戯れが過ぎますよ笑。すっけべ～笑。）

芸者B、芸者C（きやははは笑。）

細川（良いではないか笑。まろは若き女子がこの上なく好きじゃ笑。可愛いの～可愛いの～笑。胸も中々の・・大きさではないか笑。たわわに実つておるでのう・・7ほ～そかわかわかわ笑。）細川は日本酒を飲んでもう一人の芸者Bにつがせた。

芸者A（やだあ笑。細川様。本当にお戯れが過ぎますよ笑。今宵は私が・・細川様の枕で寝るのでですからあまり酔われると・・意識がのうなりますよ笑。）

細川（ほーそかわかわかわ笑。まろはその点は控えておるでのう・・笑。今宵は楽しみじゃー笑。）細川は扇子を出して、自身をおおつた。

芸者達（やつだー笑。）

細川＆芸者（あはははは笑。）黙っていた村山が話しお出した。

村山（細川さん・・ワシは社民党から総理になつて・・この国のことは何も出来んかったし、アンタも国会のストレスで世はお腹が痛いし歯が痛いのじゃって言つて、10か月で総理を辞任して政治家も辞めて陶芸家になつたみたいじゃが・・総理はワシ等を呼んで何をするんじゃろうのう・・ワシには初めての事じゃから、分からんでのう？）村山は首を傾げた。

細川（まろは存ぜぬが・・日本新党から総理になり・・やがて党は分裂・・主力は我が迷友・小沢一郎に託したし松下塾の後輩の野田佳彦君に任せておじやるから、大丈夫じや！）

村山（ワシも面倒くさいから笑。社民党は福島君に任せて今は、可愛い孫と遊んである。）

細川（政治家の任務は・・責任回避と笑！）

村山（現実逃避ですのう笑！）

細川＆村山（ほーそかわかわかわ笑！むーらやまやまやま笑。）二人がアホ話をしていると自民党議員が入つて來た。あの男だった。

谷垣禎一（良くなれたな貴様等・・怒。そりいもそろつて、これ程まで「ミミ屑のアホ顔がそろつたものだ・・怒。）谷垣は静かに怒り目をギラツカせながら笑い、眼鏡を手の甲であげた。

細川＆村山（げげー叫！た・谷垣・・叫。）一人は震えだした。

谷垣（ふん！まあ良い。貴様等にはある事を頼みたくて、総理が・・直々にお会いしたいと言つておられる・・怒。貴様等も謹んでお答えしる。）

細川＆村山（ははー！恐悦至極に損じ奉ります叫！）二人は冷や汗をかいた。

谷垣（其れでは・・来てもらいましょ。総理！来てください！）  
すると、部屋の照明が暗くなり、中央広間の下がいきなり開いて、  
その部分だけライトが照らされた。

細川（く・来るのか・・あのお方が・・。）何故か音楽でSMA P  
の青い稻妻が流れだし、下から笑い声を出しながらその男が上がつ  
てきた。

?（ハハハハハハ笑！ハハハハハハ笑！）その男は背広を着てその  
上に黒いマントをかけていた。

細川＆村山（き・來たー叫！）

橋本龍太郎（は～しししし笑！俺様は内閣総理大臣叫！自分の事  
を第一に考え、自分自身が一番イケメンで頭もキレると自負し・・  
消費税も3%から5%にまで上げて、政治家のポケツトマネーを第  
一に考えるその名も・・天を駆ける龍の如く！橋本龍太郎様だー叫  
！は～しししし笑！）橋本は上を見上げて高笑いをした。右肩  
には、大きい色鮮やかなオウムのペツトの龍ちゃんがいた。

龍ちゃん（くちゅくちゅ・・しょ・消費税を3から5に上げるだな  
んて・・橋本さんは何て凄いんだ！頭もキレる、いけめん・・オー  
ルバツク！す・すごいじょーくわーくわー叫！）龍ちゃんはしゃべ  
つた。

橋本龍太郎（は～しししし笑！俺様は凄いんだ笑！）

村山（あの・・橋本様。ペツトのオウムが貴方の右肩のマントに白  
い糞を垂らして・・貴方のマントが汚れているのですが・・大丈夫  
ですか？）

橋本龍太郎（村山・・怒。貴様！俺様の龍ちゃんに向かつて何を言  
つてるんだ怒！この長眉毛の爺が怒叫！）橋本は怒つて村山の頭を  
拳で殴つた。

村山（ぎや～年寄りに対して何をするんじゃ～泣。ワシはこんなに  
殴られたの初めての事じやから分からんわい～泣。うわ～ん泣。し・  
震災より恐ろしい泣。）

細川（其れで、総理・・まる達は何をすれば良いのじや？）橋本は

怒りながら座つて酒を飲んだ。

橋本龍太郎（ああん怒！お前等がする事はだな・・怒。俺様の消費税増税を聞き入れん、糟屋郡や熊本県といった、九州の奴等を黙らすためだ怒！その為には、小さいが根強く消費税の増税に反発する糟屋郡を血祭りに挙げて、糟屋郡の奴等も虐殺をして九州を従わせるんだ怒叫！）橋本は怒鳴り散らしながら、机を叩いて叫んだ。

細川（ほゝそかわかわかわ笑。確かに妙案じや。そこで我が細川家の財力を使って、陸は細川軍1万5千が包囲するんじやな笑。そうじやろうと思って、まろは1週間前から山中に兵を配してきずかれず糟屋郡を包囲しておじやる笑。）細川は目を細めて、狡猾に笑つた。橋本もつられにやにや笑つた。

橋本龍太郎（はゝしししし笑。本当におめえはういう所が手回しが良いよな・・笑。そういう所だけで後は、お頭は良くねえがな笑。はゝしししし笑。）橋本はビールを一気飲みし、細川は背広のポケットの中に怒りの握りこぶしを隠した。

村山（あの・・ワシは初めての事じやから～何も分からんが、ワシも社民党の軍を下関に集めた。ざつと、2千弱じやが・・ワシが表舞台に帰れるんじやつたら～保身の為なら何でもワシはやる笑。）橋本龍太郎（おお！その位で良いぞ、俺様の自民党の軍はざつと、3万5千だトータル・・5万2千か・役不足かんはあるが・・まあ、糟屋郡一帯を攻め滅ぼして・・ぎつたぎたのめつたためにするには造作もねえな笑。所で・・貴様等には俺様から・・美味しいケーキを用意したぜ笑！受け取つてくれや！）橋本はニヤニヤ笑いながら、パンパンと手を打つた。すると、女将が紫色の風呂敷を持ってきて机の中央に置いた。

細川＆村山（こ・此れは何でしょうか？ケーキにしては・・？）

橋本龍太郎（はゝしししし笑。まあ、開けてみろや笑。）橋本は日本酒を芸者に注いでもらい、一気飲みをして煙草のパーラメントのメンソールに火を点けて煙を吐いた。

細川（なあんな・・何と此れは叫！）

村山（ワシはこのような額の・・い・いやお菓子を受け取るのは初めての事じゃから、驚！）其処には、普通の額を超える札束（献金）が積まれていた。

谷垣（更に・・まだまだこの黒い鞄の中には、お菓子の束が・・。）谷垣は手の甲で眼鏡を上げて2人に見せた。細川と村山は「ぐくりと音を立てて睡を飲んだ。

橋本龍太郎（は～しししししし笑！俺様は裕福なボンボンの家に育つた叫！俺様の家柄はパパは豊田の重役・・ママの親戚筋は、かつての高知県土佐藩の藩主！山内容堂の直系の親戚筋だ笑！は～しせしし笑。しかも、俺様の弟は高知県の県知事（今もそう。）だから、実質！俺様は上士のご身分だ！この金はまあ、俺様が本来は遊びで使うために、パパの実家の豊田からもった献金じや叫！ハハ笑！恐れ入ったかゼヨ！下士共が～叫笑！）橋本は叫んで天井に煙草の煙を吐いた。

細川（ま・まろは・・下士ではないでおじやるが・・恐れ入ったぞ笑！龍太郎公笑！）

村山（ワシは・・漁民の貧乏人の末っ子じゅつた・・恐れ入りました叫！龍太郎様！へへ～。）村山と細川は土下座をして頭を下げた。橋本龍太郎（は～ししししし笑！良い眺めゼヨ～笑。）

細川（早速！まろ達が、糟屋郡を包囲して、火をかけて攻めればよいのじやな？）

村山（けけけけけ・・献金がワシは欲しい叫！）二人は焦りながら言つた。しかし、急に橋本はにこにこしながら目を細めて話し出した。

橋本龍太郎（いやいや・・ご両人方・・笑。まずは、慌てるな笑。もつと・・俺様には楽しい策があるんだ・・笑。お前等は、俺様達が合図をしたら一気に攻めかかればよい・・笑。合図は・・とりあえず携帯のメアドを交換しようか笑！）橋本は携帯を出した。細川と村山も出した。

細川（おお笑！龍太郎公！メールをもらつたぞよ。ポケモンのテロ

メでピカチュウか！まろは愛らしい物が好きでおじやる ほんに可愛いの～笑。）

村山（ワシはポケモンは孫が好きなんじゃ笑！ほほ～電氣鼠とはハイカラな文章じゃ笑！）

橋本龍太郎（うん ジゃあ、ホソッチとむらぴーは、ぶつちやけ、俺様が携帯でメールした時に軍隊を動かしてね！約束だよ）

龍ちゃん（くちゅくちゅ・・くわくわ～約束！約束！消費税増税楽しい楽しい 橋本さん大好き～くわくわ～叫！）オウムの龍ちゃんは、白い糞を橋本の肩に出してその言葉を繰り返しながら飛んだ。

細川＆村山（じゃあ！龍太郎様！糟屋郡を全滅したら、献金を頂戴ね笑！）二人は子供のような目をしながら、帰る支度をした。

橋本龍太郎（うん 勿論！約束だよ笑！）

橋本＆村山＆細川（指切りげんまん！嘘吐いたら、針千本の～ます指切つた笑！）

龍ちゃん（くわ～くわ～約束！約束！指切りくちゅくちゅ・・くわくわ～。）龍ちゃんは辺りを飛んでいた。

細川＆村山（じゃあね龍太郎様！ばいばい。）二人は手をつないで無邪気な少年の瞳で帰つて行つた。

谷垣（うるさいアホがようやく帰りましたね・・・。）谷垣は鋭い目で、外の二人を見ていた。

橋本龍太郎（まったくだ・・怒。俺様は短気なんだ・・此れでも我慢したんだぜ。）橋本は額に青筋を5本立てて、静かに怒りながら煙草を吸つた。

谷垣（で・・あの二人にお菓子はあげるのですか笑？）

橋本龍太郎（ハハハ笑。誰があの阿呆共に俺様の献金なんざ、くれてやるか怒。あいつ等は、ただ利用して捨てる使い捨てカイロだ笑。）橋本は5本目の煙草を吸つた。

谷垣（其れでは・・何の為に？）

橋本龍太郎（若いな谷垣笑。細川は細川の財力を削る為、村山は社

民党の衰退度を加速するための浪費策にしか俺様は考えてねえよ笑。

（）橋本は煙を吐いた。

谷垣（しかし・・後で奴等が怒るのでは？）

橋本龍太郎（俺様は頭がキレる・・。逆に失態をさせて、奴等を弾いてやるさ笑。）橋本は笑いながら、6本目の煙草を吸つた。

谷垣（ハハハ笑。この谷垣は秘書のアルバイトをやり・・感覚が鈍つておりました。）

橋本龍太郎（谷垣笑。お前に良い物をプレゼントだ。）橋本は手を二回叩いた。すると、奥の間からブラとパンツだけの綺麗な女が二人布団に横たわっていた。

谷垣（こ・此れは・・叫！）

橋本龍太郎（政治家にやあ・・笑。常識なんざいらねえよ。いわばヤクザの世界と一緒に笑。此れはほんのささやかなプレゼントだ笑。俺様は自分の為なら、嘘も千回吐くし、針でも何でも千本のんでやらあ笑は～ししそししそ笑。）

龍ちゃん（くわ～くわ～！橋本さん！針を飲むんだって！針を飲むんだつてくわ～！）龍ちゃんはちょっとウザかつた。

谷垣（では・・総理。二人で体を洗いに、温泉にでもいきましょうか笑。）

橋本龍太郎（お～笑。そうだな 温泉行こうぜ！修学旅行気分だぜ笑。）

谷垣は服を脱ぎながら思つた。俺は何時か腐つた壁を越えてなりあがつてやると。

続



過去の過去の過去。（後書き）

感想を長めに書いてね。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4633y/>

YUIが悪と闘ったら 過去篇5

2011年11月17日17時17分発行